

2013年10月30日
東京ガス株式会社

2013年度第2四半期決算説明会における主な質疑

Q. 料金改定の考え方について教えてほしい。

A. 今回の料金改定は、今後発生すると想定される、ガス販売量の増加および固定費の削減効果をお客さまにお返しするものである。この結果として、小口分野で平均 2.09%の引き下げを行うこととした。

Q. 今回中長期的な見通しを示しているが、これは 2020 ビジョンをリバイズしたものか。

A. 電力システム改革の動向等不透明な経営環境はビジョン作成時と変わらず、現時点で政策目標を大きく動かす必要はないと認識している。今回示した将来見通しも、ビジョンのフレーム下で今回の料金を適用した場合の収支構造を示したものである。

Q. ガス販売量の対前年度実績は。

A. 工業用需要がトーリング影響により減少しているが、これを足し戻した総販売量は 2.0%のプラスとなっている。

Q. 今後の電力事業の展開について、どのように考えているか。

A. 当社の発電所は高効率の LNG 火力発電所であり、今後も高い競争力を有すると考えている。今後も当社は首都圏の安定的なエネルギー供給に貢献していきたい。

以上